

月刊 まち・コミ 2007年4月号

● インフォメーション ● <http://park15.wakwak.com/~m-comi/>

2007年4月22日 14:00 ~

原画スライドと生の語り「きよの絵本劇場」

場所：御蔵通5・6・7丁目自治会館



1. 地域まちづくり支援事業

- 1 - 1 被災地まちづくり支援事業
- 1 - 2 平常時(事前復興)まちづくり支援事業

3. 情報発信・交流事業

- 3 - 1 情報発信事業
- 3 - 2 地域間交流事業



2. まちづくり調査研究

- 2 - 1 御蔵地区復興研究
- 2 - 2 まちづくり研修事業

4. 事務所運営

詳細は3ページ以降をご覧ください。

運営体制

顧問

遠藤勝裕 (日本証券代行株式会社)
 田中保三 (株式会社兵庫商会)

代表

宮定章

運営委員

井上赫郎 (株式会社まちづくり研究所)
 今田忠 (市民社会研究所)
 上田諭信 (NPO法人 まごころみくら)
 浦野正樹 (早稲田大学文学部)
 大矢根淳 (専修大学文学部)
 田中貢 (都市再生機構西日本支社)
 野崎隆一 (株式会社遊空間工房)
 宮定章 (まち・コミュニケーション)

支援委員

小島孜 (近畿大学理工学部)
 武田則明 (株式会社武田設計)
 濱田甚三郎 (首都圏総合計画研究所)
 宮西悠司 (まちづくりプランナー)
 森反章夫 (東京経済大学現代法学部)

名誉運営委員

高森一徳 (日本出版企画株式会社)

専従スタッフ

戸田真由美

スタッフ・応援団

各事業に関わるみなさん

(敬称略・名前順)

2007年度のスタートラインに立って・・・

震災から12年。2006年末、御蔵通5・6・7丁目町づくり協議会の解散を経験しました。支援してきたまち・コミュニケーションは「まちづくりを楽しみ、まちをさらに活気づけることに役立てれば」。ただそれだけの想いでやってきました。地区の方(全員)と想いを共有できなかった結果と受け止めています。

いろんな人がいるからこそ「まち」であって、まちづくりのおもしろさも、一人一人の違いにあります。違う考えの人と想いを共有することは、時間のかかる作業です。だから、これからも素直な気持ちで取り組んでいきます。

皆様のご協力により実現できた、まち・コミュニケーションの各事業では、関わった人々は、活動自体やいろんな出合いを心から楽しみ、今までにない経験ができ、新しい発見をし、心を動かしたのでないかと思っています。ありがとうございます。今一度、まちづくりの価値を再確認し、違いを認めること、情報を共有し、行動することが必要だと実感しています。

まちづくりには、具体的なイメージを持ち、人に伝えることが必要です。そのために、見る、聞く、知る、感じる。まちづくりに関わるみなさんとともに、五感をフルに働かせて学び、行動したいと思います。

ひとりの人の持つ力は、まちづくりに影響を与えるほど、大きなものではないでしょう。けれども多くの方がこれまでの経験や得意分野で、何が大切かに想いを入れ、行動し、結束すれば、一人一人にとっては身の丈だとしても、大きな力になります。まち・コミュニケーションを気に掛けてくださっている多くの人々の力を少しずつお借りしながら、今まで培ってきたネットワークを最大限に活かし、オリジナルのまちづくりに向けて取り組んでいきます。

今後も、御蔵通5丁目に事務所を持ち活動していきます。震災復興(ボランティア)から発展し、継続的に事業を推進するための環境づくりにも取り組むまちづくりNPOとして、気持ちを新たに再出発します。

最後に、みなさんの応援のもと、まち・コミュニケーションの12年目を迎えられたことを、感謝いたします。今後とも、よろしくおねがいいたします。

阪神・淡路大震災まち支援グループ まち・コミュニケーション
代表 宮定 章

事業計画



1. 地域まちづくり支援事業

1 - 1 被災地まちづくり支援事業

・神戸市長田区御蔵通

12年間の活動の振り返りの時期と位置づけ、よかった点、問題点を明らかにし、見直し、伝え、次の展開へのステップアップの時期とします。

また、これまでの地域福祉とまちづくり活動を活かして、地域住民有志と福祉の専門家が24時間安全安心して住み続けられる住まいみくらハウス建設事業の、コーディネートも行っています。地域の福祉への意識の高まりを活かした運営の土壌を実感する場をつくることを目指しています。

参考：月刊まち・コミ 2007年3月号

・兵庫県豊岡市 出石町鳥居

神戸での復興まちづくりの経験を生かして、2004年台風23号水害で出石川が決壊し、面的被害のあった鳥居地区で、地域コミュニティの核となる市民農園再建支援をしてきました。今年3月に鳥居やすらぎ市民農園はオープンし、地域住民と農園利用者に地域のご婦人が地元の料理を提供するなど、集いの核となる施設「鳥居のさと」もできました。これから1年、地域住民や農園利用者等と共に資源を発掘し、そして生かし、復興活動だけ終わることなく地域活性化のために工夫しながら「コミュニティの持続的な発展を支援すること」に取り組みます。

参考：月刊まち・コミ 2005年9・10月号

・台湾

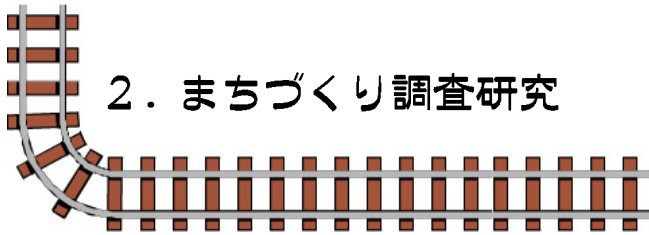
1999年の台湾集集大地震の被災地との阪神・淡路大震災の復興まちづくりの経験を活かした交流から、古民家移築計画という形で結ばれました。私たちが学んだ温故知新から地域をまちづくりをしていく知恵やそのプロセスの中に含まれる自然や人を大切にする良さを、台湾にも伝えていきます。まちづくりを通して国際平和交流にまで発展させたいと取り組んでいます。できるだけ多くの人に、いろんな形で参加していただき、国境をも越えた人の力が生むまちづくりの可能性を感じる場を創っていきます。

参考：月刊まち・コミ 2005年7・8月号

1 - 2 平常時（事前復興）まちづくり支援事業

・東大阪

特定非営利活動法人 大阪 夢・まち案内人との共同事業で、事業開始から2年経ちました。近畿大学の学生との協働や、地元自治会・商店等の意向を取り入れ、阪神・淡路大震災のまちづくり支援の経験とネットワークを生かし、少しでも役立てればと行動しています。



2. まちづくり調査研究

2 - 1 御蔵地区復興研究

これまでの復興まちづくりの経過をまとめ、その位置づけを行い、人の力のすばらしさやまちづくりの価値も整理し、一般の方や、全国のまちづくりに関わる人々が学習できる材料にできるように記録づくりを行います。また、視察受入時や一般の書籍等に投稿し、積極的に調査研究を発表していきたいと思っています。

2 - 2 まちづくり研修事業

・外部講演

まちづくりの現場から、活動中の情報発信、復興まちづくりの意義、まち・コミュニケーションの活動の伝達を目指します。

主なテーマは「(復興)まちづくりとNPO」「地域住民と外部支援者の協働」「人の力を活かした地域活性化」「次の災害に向けて今できること」等多数

・各種団体受け入れ

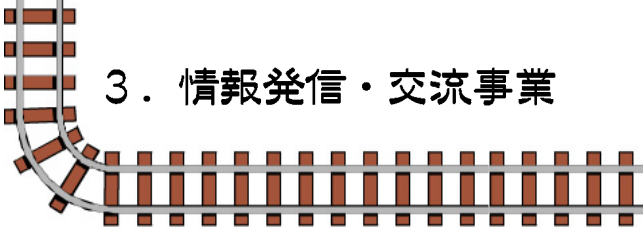
外部講演にプラスして、単なる受入に終わらず、住民同士の交流・出会いの場を作り、活性する気持ちをわかす場にもしていきたいと思っています。

・修学旅行生(小学生・中学生・高校生)の受け入れ

今後の災害に備え、修学旅行で神戸を訪れる児童生徒への震災学習を行っています。地域の語り部さん、一人一人が体験したことを伝えることで、今後の被害を少しでも減らすことにつながればと思っています。

・御蔵学校

今年度は二回開催する予定です。震災やまちづくりのその時々課題や活動の時期にあったテーマと講師を選んでいきます。



3. 情報発信・交流事業

3 - 1 情報発信事業

・月刊まち・コミ

現場からの情報をできるだけ広く伝え、情報を受け取った人が考え、地元で行動する一助となることを目指しています。また、まち・コミの活動を広報し、地域外の方からも共感してもらえようような伝達を心がけます。

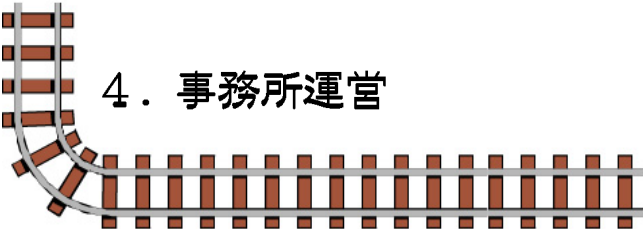
・WEBまち・コミ

主に活動の情報発信をしています。情報の機敏性を生かし、まちづくりに興味ある人にとって意義のある情報のあるホームページにしたいと考えています。

3 - 2 地域間交流事業

これまで、台湾や東京都新大久保、奈良県明日香村、兵庫県佐用町などにて交流を行ってきました。また、御蔵通5・6・7丁目自治会館にて行った、「御蔵百聞くらぶ」や「唱歌の会」でも、新しい出会いや交流がありました。まち・コミュニケーションの事務所も、地域内外の人の出会いの場にしようと取り組んでいます。交流し心を活性化しあうことで、まちづくりを伝える場、そしてまちづくりの環境作りをしたいと考えます。

参考：月刊まち・コミ2005年6月号



4. 事務所運営

活動の活発な継続性を目指し、気軽に人が集まり、人材交流ができ、活動が活性化するような事務所を目指します。また、活動のスキルアップのための業務も行っております。

まち・コミ活動報告

2/23 ~ 3/31

- | | | |
|-------------------------|------------------------|-----------------|
| 2/23 イラクから視察(日本NPOセンター) | 3/10 御蔵学校 | 3/17 復興誌打ち合わせ |
| 2/23 宮城県社協講演 | 3/11 専修大ヒアリング報告交流会 | 3/18 出石市民農園 |
| 3/2 サポーター打ち合わせ | 3/12 修学旅行受け入れ(新発田市第一中) | 3/26 修学旅行下見受け入れ |
| 3/7 兵庫県社会福祉協議会 | 3/16 事務所掃除 | 3/28 修学旅行下見受け入れ |
| 3/7 みくらハウス建設部会 | 3/16 出石市民農園そば飯打ち合わせ | 3/29 修学旅行下見受け入れ |
| 3/9 まち・コミ運営委員会(神戸) | 3/17 WEBまち・コミ作業 | 3/30 みくらハウス建設部会 |

ご支援、ありがとうございます。

2/17 ~ 3/31

賛助会員(新規・継続)

千葉桂司(奈良県) 柳瀬伸宏(兵庫県) 原田元基(兵庫県) 播本高志(兵庫県) 関口千鶴子(兵庫県) 山本敏子(東京都) 大林義三(兵庫県) 岸田圭位子(兵庫県) 竹内千恵子(兵庫県) 大久保威三夫(兵庫県) 木村裕次(兵庫県) 福永祥子(兵庫県) 芦沢吉朗(青森県) 高見沢邦郎(東京都) 佐藤寿一(東京都) 反町聡(東京都) 岩崎正朔(香川県) 大久保洋子(兵庫県) 下土居希(東京都) 寺門征男(千葉県) 桂光子(兵庫県) 唐澤和義(東京都) 松永瑞静(東京都) 南研泰(兵庫県) 高田幸治(兵庫県) 灘中央地区まちづくり協議会(兵庫県) 碓田智子(大阪府) 南野佳代子(大阪府) 黒沢司(東京都) 寿松木宏毅(秋田県) 本城友美(大阪府) 栗原昭顕(広島県) 笹岡賢司(静岡県) 横田知子(兵庫県) 佐藤友一(京都府) 名生和子(兵庫県) 東垣一臣(兵庫県) 末正盛隆(兵庫県) 福留邦洋(新潟県) 野崎隆一(兵庫県) 菅磨志保(大阪府) 清水光久(兵庫県) 宮下克己(兵庫県) 島田誠(兵庫県) 廣井昌利(兵庫県) 末正盛隆(兵庫県) 松澤純一(東京都)

協力

社団法人シャント国際ボランティア会(東京都) 株式会社兵庫商会(兵庫県) 【順不同・敬称略】

新規賛助会員募集&更新のお願い

まち・コミでは、さらに活発に活動を行うため、賛助会員を募集し、金銭面でのご支援をいただいております。会費は、事業推進のために活用させていただきます。賛助会員のみなさまには、会員特典をご用意しておりますので、ぜひ賛助会員への登録をお願いいたします。

また、賛助会員は1年更新とさせていただきます。現在賛助会員の方も時期がきましたら、更新をお願いいたします。(期限は、「月刊まち・コミ」郵送時の封筒の、宛名の下に記載していますので、ご確認ください。)

会員特典

本誌「月刊まち・コミ」の送付。

まち・コミュニケーションに関する、Eメールでの情報送付、WEBの特別ページの参照

よろしくおねがいいたします。

編集後記 新年度を迎え、月刊まち・コミの表紙デザインを一新しました。いかがでしょうか? 今後とも、ご支援ご協力、よろしくおねがいいたします。(戸)

年会費

個人・法人 年間5000円
学生 年間3000円

郵便振替口座番号

00950-3-42788

口座名称

「まち・コミュニケーション事務局」

2007年4月1日発行	
編集/発行 まち・コミュニケーション	
定価 100円	
御蔵事務所	〒653-0014
神戸市長田区御蔵通5-5	
TEL 078-578-1100 / FAX 078-576-7961	
東京事務所	〒162-0052
東京都新宿区戸山1-24-1	
早稲田大学文学部浦野研究室内	
神奈川事務所	〒214-8580
神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1-1	
専修大学文学部大矢根研究室内	
e-mail m-comi@bj.wakwak.com	
URL http://park15.wakwak.com/~m-comi/	